

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年11月28日～)
～景気順調の中で日銀に課せられるものは～

発表日: 2005年11月28日 (月)
(No. MW-35)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
11月28日(月)	米国	中古住宅販売(10月)	★	720	700~736	728	万戸
11月29日(火)	日本	完全失業率(10月)		4.2%	4.0~4.3%	4.2%	
		鉱工業生産(10月)	★★★	+1.4%	▲0.8~+1.9%	+0.4%	前月比
		家計調査(勤労者・10月)	★	+0.2%	▲1.7~+1.1%	▲0.4%	前年比
			2年債入札	★			
	米国	消費者信頼感(11月)	★★	90.0	86.0~95.3	85.0	
11月30日(水)	日本	耐久財受注(10月)・除輸送機器	★★	+1.0%	▲0.4~+1.7%	▲1.1%	前月比
		新築住宅販売(10月)	★	120.0	111.9~128.0	122.2	万戸
	欧州	住宅着工(10月)		121.6	118.6~125.0	124.5	万戸
		毎月勤労統計(10月)・名目賃金				+0.8%	前年比
		岩田日銀副総裁講演	★★				
	米国	欧消費者物価(11月)	★	+2.5%	+2.3~+2.7%	+2.5%	前年比
		独失業率(10月)		11.6%	11.4~11.6%	11.6%	季調値
12月1日(木)	日本	シカゴ地区PMI(11月)	★	60.0	58.0~63.5	62.9	
		ページブック	★				
	米国	10年債入札	★				
	欧州	I SM製造業景気指数(11月)	★★★	58.0	56.0~60.0	59.1	
個人支出(10月)			+0.5%	▲0.1~+0.7%	+1.7%	前月比	
PC Eデフレーター(10月)・コア		★★	+1.9%	+1.9~+2.0%	+2.0%	前年比	
自動車販売台数(11月)			1,590	1,540~1,650	1,470	万台・年率	
12月2日(金)	日本	ECB理事会	★★★	2.25%	2.25~2.50%	2.00%	前回据え置き
		欧製造業PMI(11月)	★	52.8	52.1~53.2	52.7	
	米国	マネタリーベース(11月)		+2.9%	+1.9~+2.9%	+2.8%	前年比
他	欧州	欧生産者物価(10月)		+0.4%	0.0~+0.6%	+0.5%	前月比
		雇用統計・非農業就業者数(11月)	★★★	+215	+150~+350	+56	千人・前月差
	米国	失業率(11月)	★	5.0%	4.9~5.0%	5.0%	
		時間あたり賃金(11月)	★★	+0.2%	+0.1~+0.3%	+0.5%	前月比
他	G 7(ロンドン、~3日)	★★					

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種バンダー調査に基づく
注目度は筆者

今週の注目点

今週は、日米欧ともに注目材料が多い。日本では、週前半に月末の主要月次指標の発表が集中する。なかでも鉱工業生産は、前月は市場予想を下ぶれたものの“中身は良い”との評価であった。循環的な回復を示唆する指標が多いことなども勘案すれば、今月は市場予想対比上ぶれるリスクが高いことに要注意だ(逆に言えば、今月も下ぶれるような場合には、景気について何か見落としているような問題がある、ないしは数ヶ月に渡る特殊要因(鋼船のような)があるということだ)。

米国では、消費者信頼感、I SM、雇用統計のほか、住宅販売や耐久財受注も発表される。いずれも示唆に富む内容になると見込まれるが、クリスマスセールス期間中にあることを勘案すれば、消費者信頼感と雇用統計の注目度が高いと言えよう。消費マインドに関しては、先に発表されているミシガン大消費者センチメントが前月対比改善したこともあり、楽観的な見方が広がっている。マインド改善の背景には、ハリケーンの影響一巡のほか、ガソリン価格などの下落が挙げられる。こうした要素は足下までマインド改善に働く方向へと動いている。市場コンセンサスを上ぶれるようであれば、特に株価の押し上げ効果が期待される。一方債券市場に対しては、一般に“需要好調観測=インフレ懸念=債券安”となるが、①すでにFF金利は景気に対して中立的とされる水準に近づいているとの認識が広がっていること、②FRB議長交代のタイミ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ングがそうした見方を後押ししていること、③川下段階でのインフレ沈静傾向が続いている上、足下で原油などエネルギー価格が下落していること、などから、クリスマスセールスに対する強気な見方が強まったとしても、債券市場へのネガティブなインパクトは限定的なものにとどまる公算がある。今週発表される指標の中でこの点を測る指標としては、消費者信頼感とISMのそれぞれ物価に対する見方、ページュブック、PCEデフレーター、時間あたり賃金となる。

欧州では、ECB理事会の注目度が久々に高まった。トルシェECB総裁の発言により、今理事会での利上げはほぼ確実な情勢となった。市場の見方も、利上げではほぼ一致している(利上げ幅で多少の違いがある)。おそらくはかなりの確度で+25bpの利上げ実施となろうが、注目されるのはその有無や幅よりも、今後のECB高官のコメント等から、最終目標は何を指針としてどの程度の水準にまで引き上げられるのかについて、何か示唆するようなものが出てくるかどうかだ。今回の理事会で+25bpの利上げが実施されたとしても、それで打ち止め感が出るとは見込み難い。

いずれにせよ、米国はすでに超低金利政策是正の最終段階に入り、欧州は是正に向けて第一歩を示すことになる。それでも世界景気は未だ順調に拡大しているが、金融政策と実体経済との間にタイムラグが存在することから、先行きはそれなりに影響が出てくると予想される。そうした中で、日本が超超低金利政策から抜け出すようなことになれば、確かに影響は大きいのもかもしれない。

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、主要国で金利は低下。日本では、政府による日銀の量的緩和解除への牽制が引き続き尾を引く格好で、金利の低下基調が続いた。また、米国ではFOMC議事録で、利上げペースを鈍化させる議論がされていたことが明らかとなり、短期ゾーン主導で金利は低下した。今週は、米国ではISMと雇用統計、欧州では利上げへの転換が確実視されるECB理事会、日本では主要月次指標に加えて政府と日銀の量的緩和解除を巡る鏝迫り合いが注目される。総じてファンダメンタルズが良好なことを勘案すれば、そろそろ金利の低下にも歯止めがかかると見込まれる。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、主要国を中心に株価は上昇。主要国の中では米国株の上昇が目立ったが、利上げ打ち止め時期が近づいているとの見方に加え、消費マインドの改善やガソリン価格の下落などからクリスマスセールスに対する期待が高まったことなどが背景。今週は、日米欧ともそれぞれに材料は多い。米国では引き続きクリスマスセールスの動向が注目される。今週発表される消費者信頼感と雇用統計がともに良ければ、期待は一段と高まろう。日本では、生産などからデフレ脱却へ向けての動きの再確認となる。いずれも堅調な展開を予想。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルは日本円やユーロに対しては上昇したものの、その他諸通貨に対してはまちまち。ドル/円やユーロ/ドル相場に関しては、引き続き金利差に着目した動きが続いている。米利上げ最終局面が近いとの見方が台頭したものの、日欧金利も低下したことが、対円やユーロでのドル小幅上昇に繋がった。今週は、日米欧の主要経済指標が発表されることから、それぞれの景気の勢いから想定される今後の金融政策の動向が焦点となろう。米指標が強めだと、米利上げ最終局面の先送り感も出る可能性がある。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、原油、非鉄金属などは上昇。原油は、欧米の気温で一喜一憂する展開となった。また、金は上昇期待が引き続き強く、堅調な展開が続いた。今週は、原油価格は引き続き天候要因に左右されよう。金は、日米欧の利上げ期待が強まるようだと、ピークアウトを意識し始めよう。チャートのピーク圏(83年高値：514ドル)は近い。

[債券市場]

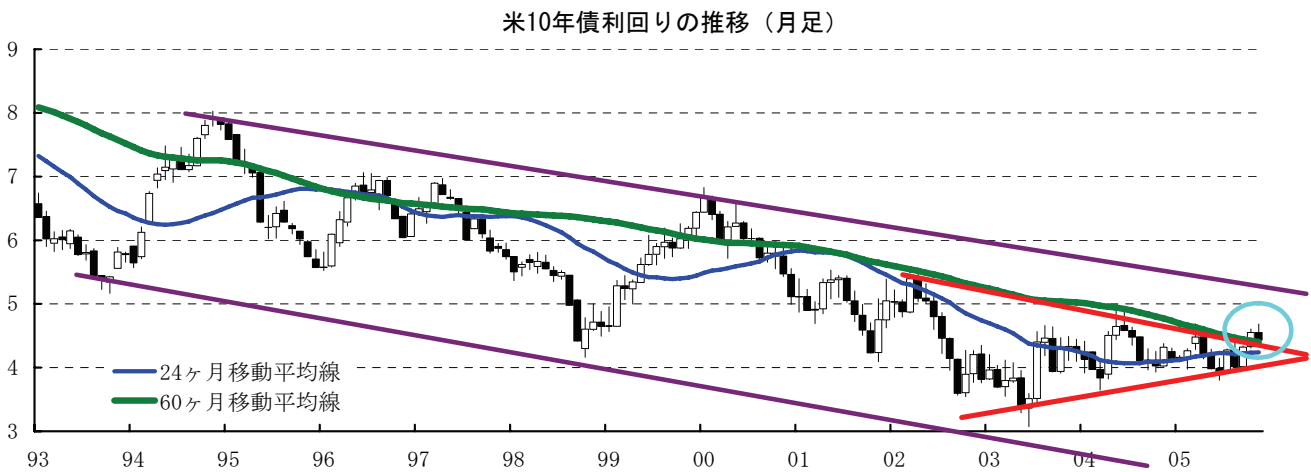
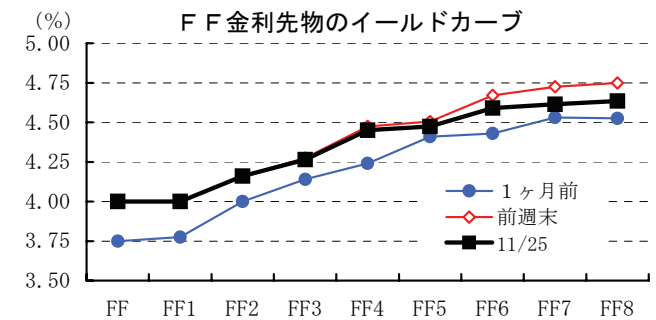
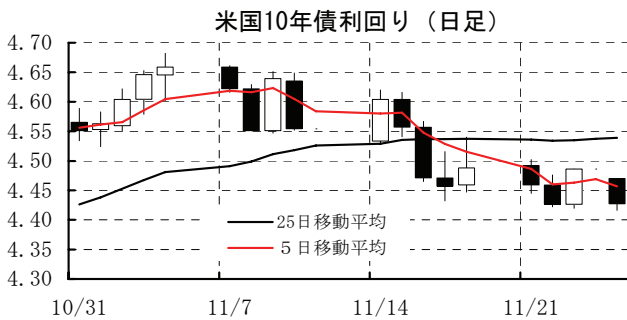
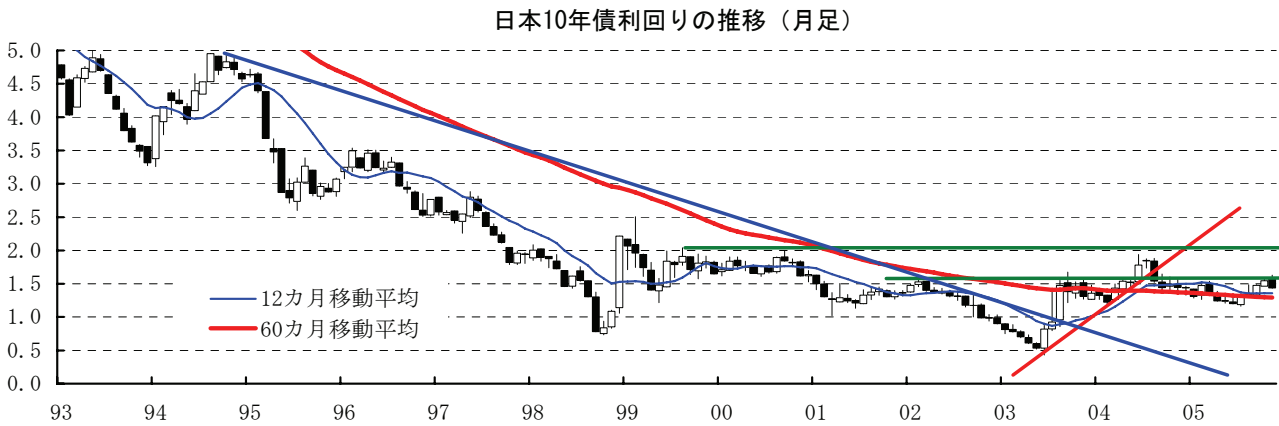
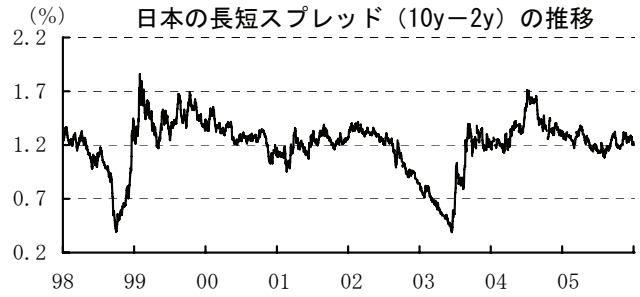
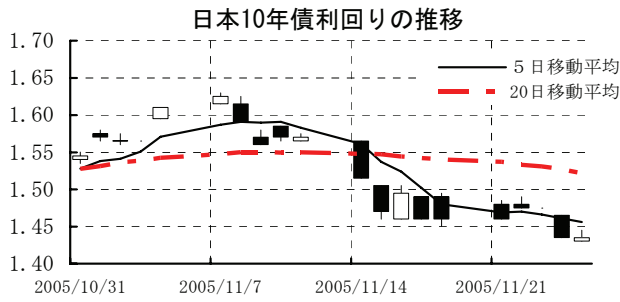
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
2年	日本	0.230	+12	▲4	▲2	+0	▲1	+4	+3	+9	+6	▲4	▲4
	米国	4.349	+133	+2	▲4	▲3	+1	+38	▲20	+35	+21	▲4	▲4
	イギリス	4.251	▲18	▲9	+0	▲21	▲24	+11	▲6	+9	+13	+1	▲14
	ドイツ	2.717	+39	+17	▲11	▲7	▲16	+23	▲5	+20	+24	+3	+10
	スイス	1.530	+41	+21	▲5	▲3	▲12	+9	+5	+15	+31	▲5	+2
	スウェーデン	2.390	▲9	+21	▲1	▲11	▲32	+15	+9	+12	+6	+1	+6
	ポーランド	4.730	▲195	+30	▲11	▲30	▲55	+6	▲26	▲6	+45	+7	▲11
	カナダ	3.699	+62	+14	▲6	▲10	▲14	+21	▲4	+35	+28	+4	+2
	メキシコ	8.103	▲94	▲34	▲7	▲62	▲28	+2	▲49	▲32	+6	▲16	▲13
	ニュージーランド	6.785	+58	N.A.	N.A.	▲11	▲1	▲9	▲4	+22	+2	N.A.	N.A.
	オーストラリア	5.275	+31	▲6	+2	▲6	▲4	▲1	▲12	+27	+6	▲9	▲5
	韓国	5.055	+171	+9	▲6	▲12	+34	+17	▲9	+46	+32	+8	▲3
	シンガポール	2.650	+114	+39	+1	▲1	▲12	+7	+1	+28	+12	+5	▲2
	タイ	4.455	+173	▲20	▲12	+6	+11	+41	+29	+16	+95	+23	▲27
インド	6.142	+16	▲3	+1	▲15	+3	▲8	+5	+5	▲2	+5	+2	
10年	日本	1.435	+3	▲9	▲2	+1	▲9	+14	+3	+14	+7	▲4	▲11
	米国	4.427	+23	▲11	▲6	▲13	▲16	+36	▲26	+31	+23	▲11	▲7
	イギリス	4.201	▲38	▲21	▲7	▲14	▲22	+14	▲16	+13	+5	+0	▲17
	ドイツ	3.427	▲35	+12	▲11	▲6	▲20	+11	▲14	+5	+24	+2	+3
	スイス	2.162	▲15	+17	▲6	▲26	▲4	▲2	▲7	+1	+22	▲1	▲1
	スウェーデン	3.338	▲71	+16	▲9	▲13	▲26	+6	▲6	+5	+24	▲0	+2
	ポーランド	5.203	▲114	+33	▲27	▲44	▲45	+23	▲17	▲2	+60	+0	▲11
	カナダ	4.014	▲37	▲9	▲9	▲17	▲22	+12	▲8	+18	+20	▲4	▲6
	メキシコ	8.551	▲187	▲29	▲16	▲98	▲21	+4	▲63	▲24	+32	▲16	▲5
	ニュージーランド	5.826	▲16	▲7	▲4	▲14	+3	▲1	▲7	+23	+8	▲4	▲15
	オーストラリア	5.393	+14	▲2	+4	▲17	▲7	+2	▲8	+32	+12	▲11	▲10
	韓国	5.686	+174	+16	▲7	▲27	+45	+23	▲19	+28	+43	+16	▲8
	シンガポール	3.280	+47	+38	+12	▲24	▲1	+0	+20	+3	+18	▲7	▲1
	タイ	5.868	+104	▲28	▲46	▲2	▲33	+60	+32	+40	+124	+5	▲5
インド	7.068	▲15	▲7	▲3	▲33	▲13	+8	+12	+0	+1	+1	▲2	
長短スプレッド	日本	+120.5	▲10	▲5	▲0	+1	▲8	+10	+1	+5	+1	+0	▲7
	米国	+7.8	▲110	▲13	▲3	▲10	▲17	▲2	▲6	▲4	+2	▲6	▲2
	イギリス	▲5.0	▲20	▲12	▲7	+7	+3	+4	▲9	+4	▲8	▲1	▲4
	ドイツ	+71.0	▲74	▲5	+0	+0	▲4	▲12	▲9	▲15	+1	▲2	▲7
	スイス	+63.2	▲56	▲4	▲1	▲22	+8	▲11	▲12	▲13	▲9	+5	▲3
	スウェーデン	+94.8	▲62	▲6	▲8	▲3	+6	▲9	▲15	▲7	+18	▲1	▲5
	ポーランド	+47.3	+81	+3	▲16	▲14	+9	+17	+10	+4	+15	▲6	+0
	カナダ	+31.5	▲99	▲23	▲4	▲7	▲8	▲9	▲4	▲17	▲7	▲8	▲7
	メキシコ	+44.8	▲92	+5	▲9	▲36	+7	+2	▲14	+8	+26	▲1	+8
	ニュージーランド	▲95.9	N.A.	N.A.	N.A.	▲3	+4	+8	▲3	+1	+7	N.A.	N.A.
	オーストラリア	+11.8	▲17	+3	+3	▲11	▲3	+3	+4	+4	+6	▲2	▲5
	韓国	+63.1	+3	+7	▲1	▲16	+12	+6	▲10	▲18	+12	+9	▲4
	シンガポール	+63.0	▲67	+0	+11	▲23	+11	▲7	+19	▲25	+6	▲12	+1
	タイ	+141.3	▲69	▲8	▲34	▲8	▲44	+20	+3	+24	+29	▲18	+22
インド	+92.6	▲30	▲4	▲3	▲18	▲16	+15	+7	▲5	+2	▲4	▲4	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例: 4週前=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。

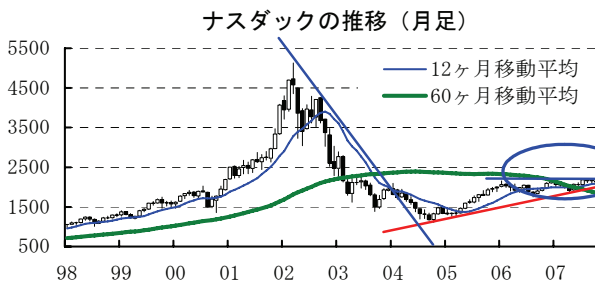
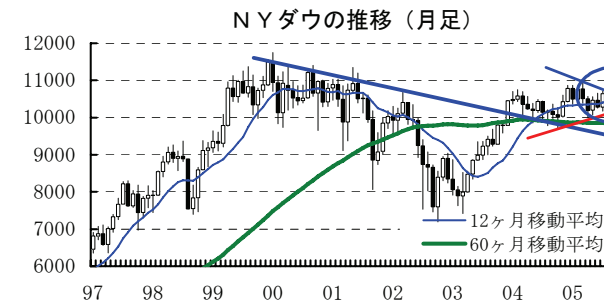
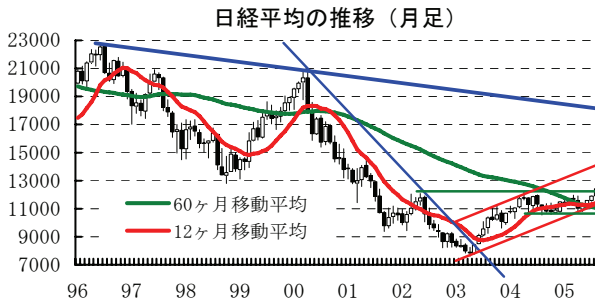
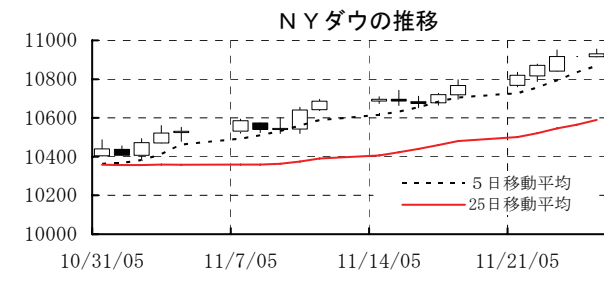
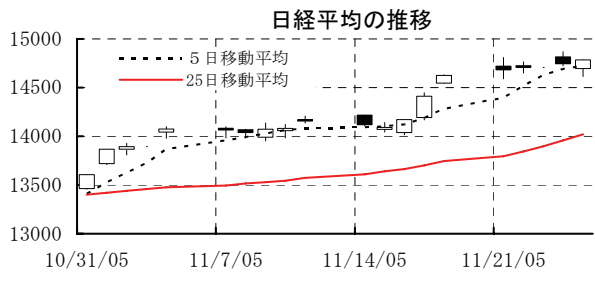


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

〔株式市場〕

		直近値	直近までの変化率			過去の動き								
			1年前～			1月前～		月間					週間	
			1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前	
日本	日経平均	14784.29	+35.6	+11.3	+1.1	+2.4	+2.7	+2.7	+4.3	+9.4	+0.2	+0.6	+3.3	
	TOPIX	1529.67	+39.8	+9.8	▲0.1	+1.3	+2.9	+2.4	+5.5	+11.1	+2.3	▲0.0	+2.5	
	日経店頭	2344.51	+39.1	+6.8	+0.3	▲2.0	+3.9	+3.3	+1.2	+2.0	+5.0	+1.5	+1.1	
米国	N Yダウ	10931.62	+3.9	+5.3	+1.5	+2.7	▲1.8	+3.6	▲1.5	+0.8	▲1.2	+1.5	+0.8	
	S P 500	1268.25	+7.3	+6.0	+1.6	+3.0	▲0.0	+3.6	▲1.1	+0.7	▲1.8	+1.2	+1.1	
	ナスダック	2263.01	+7.6	+7.3	+1.6	+7.6	▲0.5	+6.2	▲1.5	▲0.0	▲1.5	+1.5	+1.1	
	フィラデルフィア半導体	484.61	+11.8	+9.6	+1.3	+11.2	▲2.3	+13.2	▲0.1	+0.3	▲9.0	+2.1	+3.8	
イギリス	F T 100	5523.80	+16.2	+6.6	+0.5	+3.4	+3.0	+3.3	+0.3	+3.4	▲2.9	+0.8	+0.6	
ドイツ	D A X	5194.27	+24.9	+6.6	+1.4	+6.6	+2.8	+6.5	▲1.2	+4.4	▲2.3	+1.9	+0.6	
欧州	ダウ欧州50	3311.52	+19.8	+5.1	+0.7	+4.2	+3.5	+3.4	▲0.8	+4.7	▲1.8	+1.2	▲0.3	
スウェーデン	ストックホルムOMX	919.65	+23.7	+5.6	+0.1	+5.7	+3.8	+5.0	▲1.7	+5.5	▲1.5	+1.9	+0.5	
ポーランド	ワルシャワWIG	33392.83	+32.8	+3.9	▲0.8	+3.6	+5.9	+7.5	+3.0	+7.8	▲5.3	▲0.9	+2.0	
ロシア	R T	1034.52	+63.6	+14.4	+2.0	+0.6	+4.8	+10.3	+12.9	+14.6	▲7.2	▲0.3	+4.6	
メキシコ	ボルサ	16879.37	+40.7	+9.8	+2.0	+5.2	+4.0	+6.8	▲1.2	+13.2	▲2.2	+1.5	+2.5	
ブラジル	ボバスバ	31919.66	+28.4	+8.2	+2.6	+1.5	▲0.6	+4.0	+7.7	+12.6	▲4.4	▲1.2	+1.9	
アルゼンチン	メルバル	1629.63	+37.3	+3.3	+1.6	+10.2	▲8.0	+10.3	+4.9	+7.2	▲5.1	▲4.8	+0.7	
N Z	ニュージーランドSX50	3324.23	+12.3	+1.7	▲0.1	+1.7	+7.0	+3.5	▲0.2	+3.0	▲4.3	▲1.7	+1.7	
オーストラリア	A S 200	4648.80	+19.1	+5.9	▲0.5	+3.1	+4.2	+2.6	+1.3	+4.4	▲3.9	+1.2	+2.1	
香港	ハンセン	15081.47	+8.3	+4.6	+1.3	▲0.3	+2.4	+4.8	+0.2	+3.5	▲6.8	+1.1	+1.0	
韓国	総合	1293.22	+48.2	+9.5	+1.6	+6.5	+3.9	+10.2	▲2.5	+12.7	▲5.2	+2.8	+1.3	
台湾	加権	6128.20	+4.7	+7.1	+0.4	+3.3	+3.8	+1.1	▲4.4	+1.4	▲5.8	+2.8	+0.5	
シンガポール	S T	2295.73	+12.8	+3.1	+0.1	+1.7	+2.4	+6.3	▲3.3	+1.3	▲3.8	▲0.0	+1.2	
タイ	S E T	669.89	+3.5	▲1.0	▲1.0	+1.3	+1.2	+0.0	+3.3	+3.6	▲5.7	▲2.2	▲2.0	
インド	ムンバイSENSEX30	8853.21	+46.7	+10.8	+1.9	+9.1	+7.1	+6.1	+2.2	+10.6	▲8.6	+4.9	+2.5	
中国	上海A	1172.00	▲17.8	▲0.6	▲0.2	▲8.5	+2.0	+0.3	+7.3	▲0.7	▲5.4	▲0.9	+2.5	

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

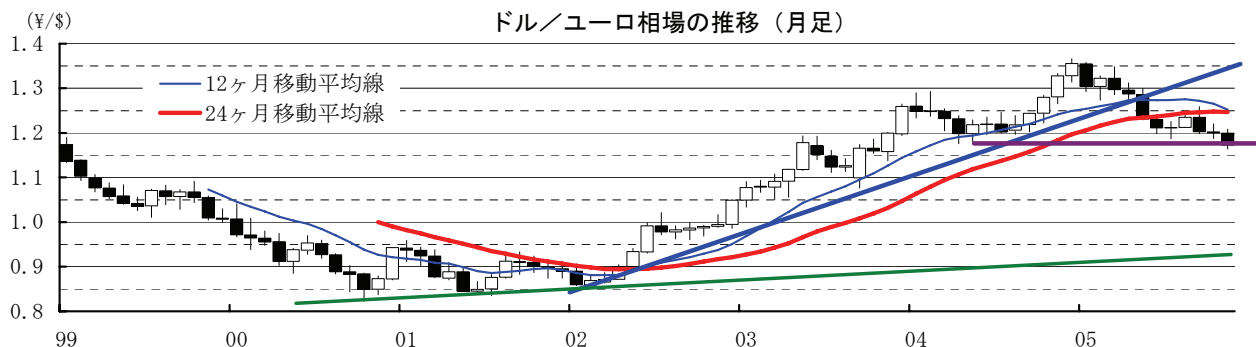
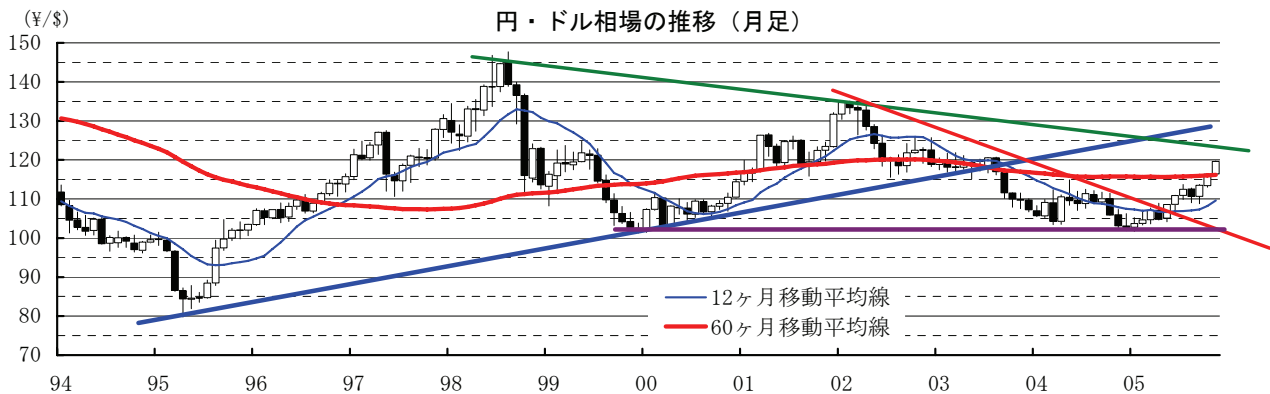
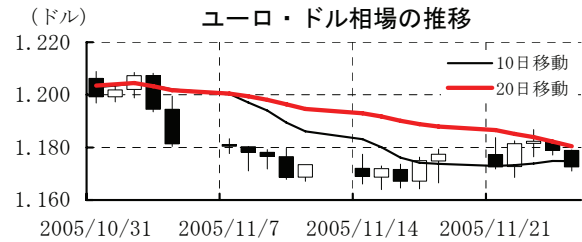
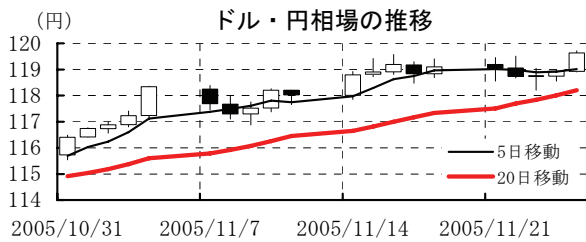


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
		6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前			
日本円	119.63	▲16.8	▲4.0	▲0.4	▲3.6	▲2.2	▲1.4	+1.7	▲2.6	▲2.5	+0.3	▲0.9
ユーロ	1.1725	▲11.6	▲3.1	▲0.4	▲4.4	▲1.6	+0.1	+1.8	▲2.6	▲0.3	▲0.7	+0.3
イギリスポンド	1.7142	▲9.4	▲3.9	▲0.2	▲4.8	▲1.4	▲1.9	+2.6	▲2.2	+0.3	▲0.4	▲1.4
スイスフラン	1.3186	▲15.8	▲3.3	▲0.3	▲4.5	▲2.7	▲0.6	+2.8	▲3.3	+0.4	▲0.3	▲0.3
スウェーデンクローナ	8.087	▲19.3	▲3.0	+0.8	▲5.2	▲5.0	+0.5	+2.7	▲2.5	▲2.8	▲0.4	+0.1
ポーランドズロチ	3.337	▲4.6	▲2.7	+1.4	▲7.2	+1.4	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.3	▲1.4	+1.7
ロシアルーブル	28.865	▲1.7	▲1.4	▲0.3	▲1.3	▲1.4	+0.0	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.9	+0.3
カナダドル	1.1700	+0.6	+0.4	+1.6	+0.3	+2.4	+0.1	+2.9	+2.1	▲1.7	▲0.5	+0.1
メキシコペソ	10.609	+6.0	+2.4	+0.5	+2.6	+1.2	+1.4	▲1.5	▲0.1	▲0.3	+0.7	+0.1
ブラジルリアル	2.234	+18.9	+1.3	▲0.4	+10.2	+3.1	▲2.0	+0.9	+5.5	▲1.1	+2.3	▲3.0
アルゼンチンペソ	2.968	▲0.9	+0.7	▲0.8	+1.2	▲0.2	+0.9	▲1.8	+0.1	▲3.2	+0.5	+0.8
NZドル	0.699	▲1.5	▲0.9	+1.7	▲1.0	▲1.0	▲2.4	+2.3	▲0.7	+1.3	+0.6	+0.1
オーストラリアドル	0.7357	▲7.1	▲2.8	+0.3	▲3.3	+0.9	▲0.8	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲0.0	+0.1
韓国ウォン	1041.50	+2.3	+0.7	▲0.5	+0.5	▲2.6	+0.7	▲0.7	▲0.8	+0.2	+0.6	+0.5
台湾ドル	33.550	▲3.6	+0.0	+0.2	+0.5	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲1.3	▲1.1	+0.5	▲0.5
シンガポールドル	1.6932	▲3.2	▲0.2	+0.4	▲1.8	▲1.1	+1.3	▲1.1	▲0.6	▲0.1	+0.0	+0.1
タイバーツ	41.24	▲4.2	▲1.0	▲0.1	▲3.0	▲1.7	▲0.8	+0.9	+0.6	+0.7	▲0.0	▲0.3
インドネシアルピア	10060	▲12.1	▲0.8	+0.2	▲0.5	+2.5	▲0.5	▲5.0	+0.0	+1.7	+0.8	▲0.9
インドルピー	45.83	▲1.8	▲1.7	▲0.2	+0.1	+0.5	+0.0	▲1.5	+0.3	▲2.4	▲0.5	▲0.1

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
直近値以外の単位は%。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		直近までの変化率			月間					週間		
		1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	58.71	+18.8	▲5.7	+2.6	+4.5	+8.7	+7.2	+13.3	▲3.5	▲9.7	▲5.0	▲0.6
北海ブレント	55.01	+23.2	▲8.7	+0.2	▲0.7	+9.6	+6.8	+12.9	▲5.3	▲8.5	▲7.2	▲0.2
ドバイ	50.86	+42.6	▲3.7	+0.8	▲2.3	+17.4	+4.1	+10.8	▲3.8	▲8.4	▲6.5	▲1.3
OPECバスケット	50.89	+30.7	▲3.3	+2.8	▲0.6	+9.3	+4.2	+12.7	▲5.0	▲7.4	▲7.4	▲1.5
金 (NY)	492.3	+9.6	+4.1	+1.3	▲4.5	+5.0	▲1.6	+1.2	+7.8	▲0.4	+2.5	+3.6
銅 (NY)	214.00	+43.8	+8.9	+2.0	+0.8	+3.2	+8.6	+0.9	+5.8	+5.2	+3.4	+5.0
アルミ (NY)	95.05	+6.3	+4.2	+0.4	▲5.2	▲2.4	+8.1	▲0.3	+1.1	+6.1	+1.3	▲0.4
小麦 (シカゴ)	297.00	▲0.8	▲8.8	▲1.7	+4.3	▲3.1	+1.9	▲8.0	+14.8	▲8.4	+0.1	▲3.0
大豆 (シカゴ)	170.10	+5.6	▲0.5	▲1.2	+10.4	▲3.6	+2.6	▲14.1	▲8.3	+1.5	+3.1	▲5.2
コーン (シカゴ)	189.75	▲4.0	▲4.9	▲0.8	+8.4	▲4.4	+11.4	▲14.8	+2.0	▲4.5	+0.0	▲2.2
CRB	314.67	+7.9	▲4.4	+0.6	▲1.0	▲0.3	+4.0	+5.6	+1.1	▲5.0	▲1.0	▲0.9
JOC	116.73	+3.1	▲1.5	+0.3	▲2.8	▲1.4	+0.2	+5.5	+6.7	▲5.0	▲0.1	+0.2
日経商品指数 (17種)	114.61	+9.3	+2.2	▲0.1	▲0.0	+0.6	+1.2	+0.3	+1.0	+3.1	▲0.0	+0.6
日経商品指数 (国際)	106.06	+18.6	▲2.0	+0.1	▲3.2	+3.1	+4.5	+2.9	+2.5	▲2.1	▲1.1	▲1.1

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率 (例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数 (国際) は木曜日、日経商品指数 (17種) は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。

